

番号	3		平成26年度公共事業再評価調書			担当室名 河川海岸整備課						
事業名	広域河川改修事業			事業主体	静岡県							
箇所名	一級河川 <small>あんまがわ</small> 安間川			関係市町村	浜松市							
事業採択年度	平成12年度		計画期間	平成12年度 ～ 平成36年度								
用地着手年度	平成17年度		工事着手年度	平成18年度								
再評価理由※	再評価実施 (H21) 後5年が経過											
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～H24年度	H25年度	H26年度見込	計						
	11,000		3,135	500	600	4,235						
事業概要	<p>(1)事業目的 安間川流域では、昭和57年10月洪水(既往最大)を始め、家屋浸水被害が継続的に発生している。遊水地整備や河川改修により、既往最大洪水と同規模の年超過確率1/10の降雨(時間雨量65ミリ)による洪水を安全に流下させ、床上浸水被害の解消を図る。</p> <p>(2)事業内容 河川改修 全体延長 L=8,320m 河道改修 L=8,320m (築堤、引堤、河床掘削、護岸工)、橋梁工15橋 遊水地整備 面積 6.6ha、洪水調節容量145,000m<sup>3</sup></p>											
【視点1】 事業の 必要性	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 浜松市長上地区をはじめとした中流域では、昭和49年7月の七夕豪雨、昭和50年10月の台風13号、平成10年9月の台風7～8号などの豪雨により、床上浸水被害を受けている。特に、昭和50年10月の台風13号は、床上浸水25戸、床下浸水756戸と極めて大きな被害をもたらした。近年は、流域内において、大型ショッピングセンター等の民間開発や宅地化の進行がみられ、事業採択時と比べ水害が発生した場合の危険度は増しており、地元の事業に対する要望は強く、当該事業に対する期待度は極めて高い。</p> <p>(2)事業の投資効果 B/C=3.09</p> <p>(3)事業の進捗状況 遊水地整備を先行しており、用地の取得状況は、平成25年度末で約5.7ha(概ね96%)、未買収地権者は残り3名となっている。平成24年度より遮水壁工事に着手し、一部暫定掘削を実施している。また、付け替え道路や歩道橋新設工事も実施しており、平成28年度の遊水地暫定供用開始を目指している。</p> <p>進捗率 38.5% (平成26年度末見込み：4,235百万円/11,000百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">評価</td> <td style="text-align: center;">継続が妥当</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">視点3による見直し後継続が妥当</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">継続は妥当ではない</td> </tr> </table>						評価	継続が妥当	・	視点3による見直し後継続が妥当	・	継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・	視点3による見直し後継続が妥当	・	継続は妥当ではない							
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>引き続き、遊水地整備を先行し、平成28年度暫定供用開始を目指す。近年でも、床下浸水被害が発生しており、地元は早期事業進捗を要望している。平成23年度まで反対していた地権者10名も徐々に買収に応じ、現在残り3名となったことから、今後は事業の進捗が図られる見込みである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">評価</td> <td style="text-align: center;">継続が妥当</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">視点3による見直し後継続が妥当</td> <td style="width: 10%;">・</td> <td style="width: 10%;">継続は妥当ではない</td> </tr> </table>						評価	継続が妥当	・	視点3による見直し後継続が妥当	・	継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・	視点3による見直し後継続が妥当	・	継続は妥当ではない							
【視点3】 新たなコスト 削減・代替 案立案等の 可能性	<p>遊水地は、水と緑の貴重なオープンスペースとも成り得ることから、平常時における利活用(グラウンドや多目的広場、散策路やポケットパーク等)にも配慮しながら整備を進めていく。 また、遊水地の整備にあたって、掘削により生じる発生土は、築堤材等に有効利用するなど、コスト削減に努めていく。</p>											
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を(継続・中止)する。</p> <p>(2)理由 事業は進捗しており、費用対効果も認められる。地域住民の期待は大きく、浸水被害を軽減するため事業継続とする。</p>											

## 費用対効果算出説明書

### 一級河川 安間川

(「治水経済調査マニュアル(案)」建設省河川局 平成17年4月)

### 総括表

総便益 B	[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額] +[施設の残存価値] ※ 現在価値化後	32,915百万円
総費用 C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費] ※ 現在価値化後	10,642百万円
B/C		3.09

### 総便益

- 治水事業の有無による被害額の差分  
年平均被害軽減期待額を社会的割引率4%、評価対象期間72年(整備期間22年+50年)とし、現在価値化する。
- 施設等の残存価値  
評価期間末における施設等の残存価値を社会的割引率4%で現在価値化する。

総便益

$$\begin{aligned}
 B &= \Sigma \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n + \text{評価期間末残存価値} / (1+0.04)^n \\
 &= 32,187\text{百万円} + 728\text{百万円} \\
 &= 32,915\text{百万円}
 \end{aligned}$$

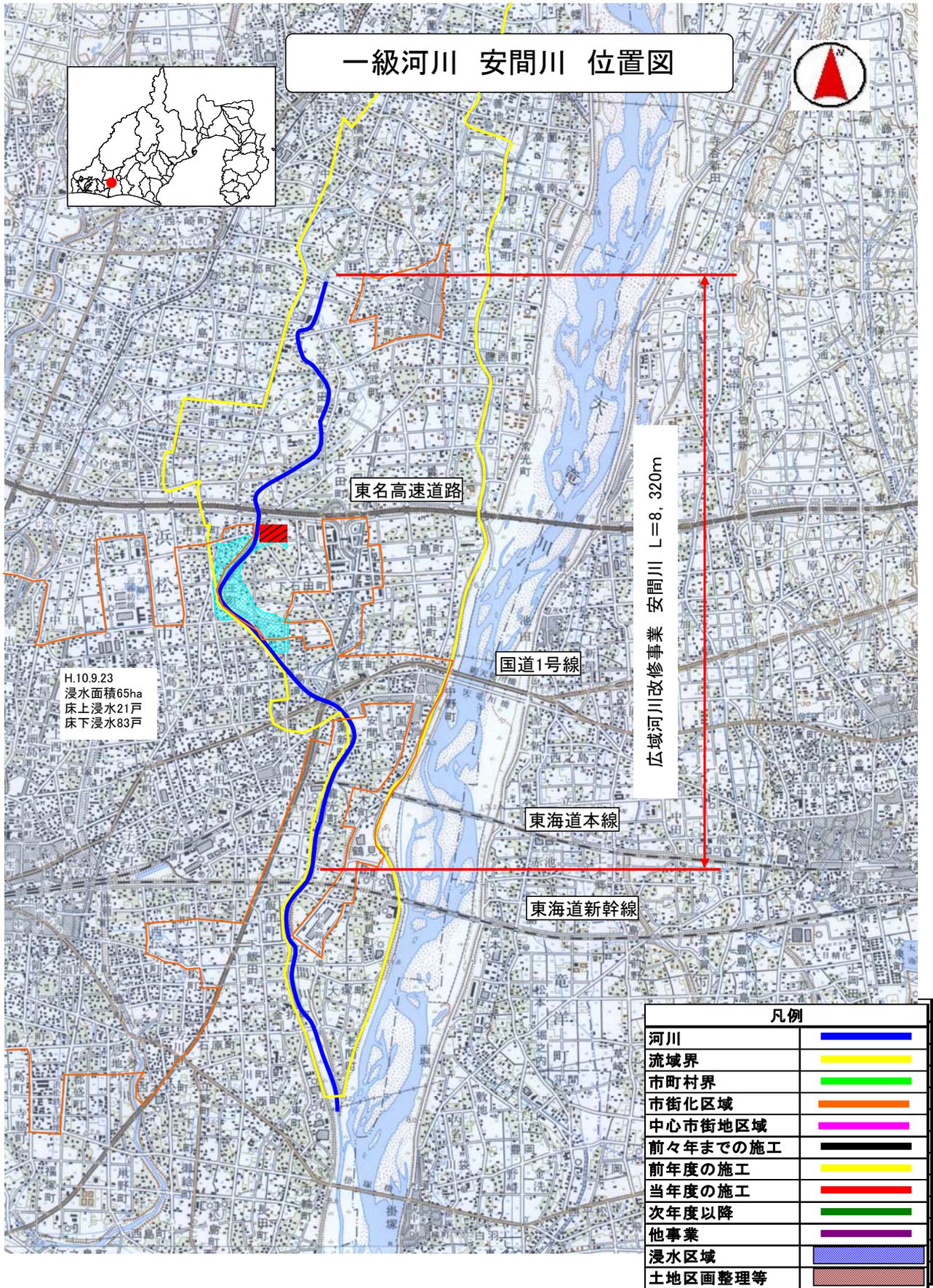
- ※ 被害額は洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用である。
- ※ 年平均被害軽減期待額は洪水の生起確率を生起確率別被害軽減額に乘じ、計画対象規模まで累計することにより算出する。
- ※ 整備期間中の便益は、事業費に比例して発生するものとする。

### 総費用

- 事業建設費  
各年の事業建設費を社会的割引率4%で現在価値化する。
- 評価期間内に必要な維持管理費  
各年の維持管理費を社会的割引率4%で現在価値化する。  
建設費の0.5%/年、評価対象期間:72年

総費用

$$\begin{aligned}
 C &= \Sigma \text{各年事業建設費} / (1+0.04)^n + \Sigma \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\
 &= 10,540\text{百万円} + 102\text{百万円} \\
 &= 10,642\text{百万円}
 \end{aligned}$$



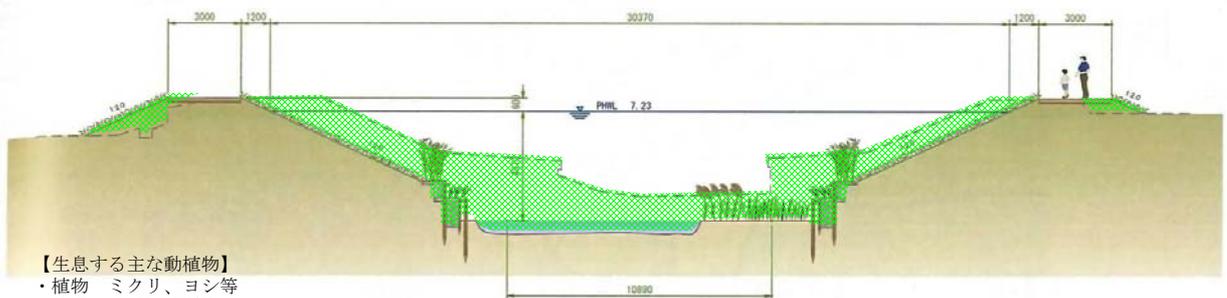
## 現 況 写 真



H22.2.13 現況航空写真



## 標 準 横 断 図



- 【生息する主な動植物】
- ・植物 ミクリ、ヨシ等
  - ・魚類 コイ、メダカ等
  - ・鳥類 コサギ、セグロセキレイ等

### 現在の状況

- ・流域は市街地、田畑の割合が半々である。
- ・コンクリート柵板の低水路がある2割堤である。

### 計画の概要

- ・河道内において流れに変化がつくように、低水路を創造する。
- ・環境保全ブロックを用い、緑化の促進を図る。
- ・2割の法面は、できる限り植栽する。

### 多自然型工法の概要

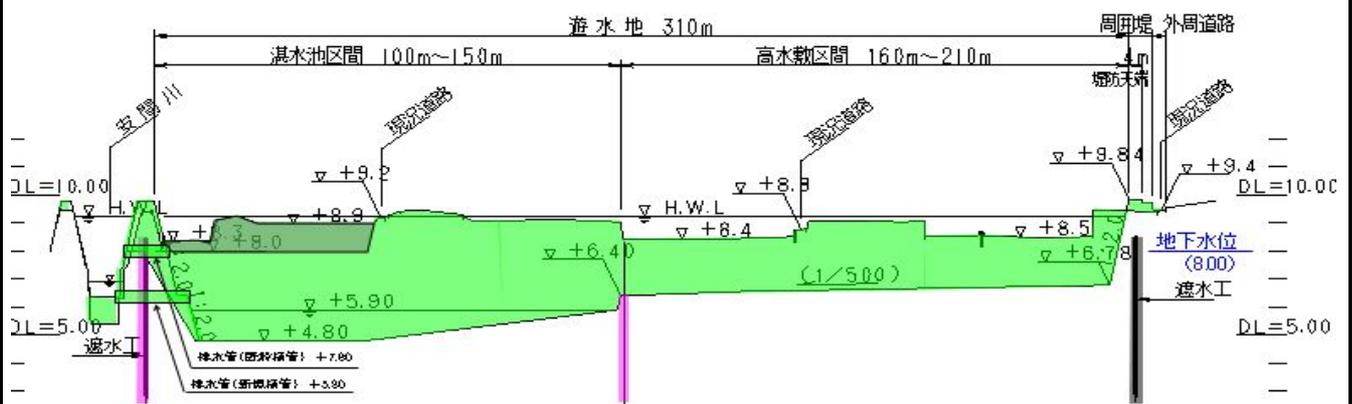
- ・掘削して低水路をつくる。改修前と同程度の水面幅を確保する。
- ・水際部は固めず礫を敷き、水際環境の多様化を図る。
- ・低水路の掘削土を盛土する。
- ・法面は基本的に土羽構造とし、できる限り植栽する。

# 現 況 写 真



# 標 準 断 面 図

遊水地縦断面図 (A-A)  
(東西方向) 1/1000 2/2000



### 現在の状況

・水田約8割、住宅11軒、その他 市道、用排水路である。

### 計画の概要

・広い面積を有す水と緑の空間となるため平常時における水辺体験活動等への利用にも配慮して整備する。

### 多自然型工法の概要

- ・掘削して堀込み形状とする。周囲堤下に遮水工を設ける。
- ・越流堤、囲によ堤は、コンクリート等の剛構造とする。
- ・法面は基本的に土羽構造とし、高水敷は憩いやレクリエーションの場として、湛水池区間はピオトープ機能を有す親水区間としての利用を想定して整備する。

